



つくる、を日常に。

Living with ART.

2020 8.15(土) - 8.23(日)

日本画・洋画・書・彫塑工芸・写真

会場

春日井市役所11、12階
文化フォーラム春日井

時間

午前9時～午後4時30分
※初日のみ午前10時開場／最終日は正午まで
※会期中休みなし

主催＝春日井市、春日井市教育委員会 後援＝中日新聞社
主管・問合せ＝公益財団法人かすがい市民文化財団
TEL.0568-85-6868 www.kasugai-bunka.jp

春日井市民美術展覧会

市民展

第69回

目 次

特別賞受賞作品

| | |
|----------------|----|
| 市長賞 | 2 |
| 財団理事長賞 | 5 |
| 教育委員会賞 | 8 |
| 市議会議長賞 | 11 |
| 観光コンベンション協会会長賞 | 13 |
| 委嘱特別賞 | 17 |

受賞者、入賞者・資格者一覧

| | |
|------|----|
| 特別賞 | 19 |
| 奨励賞 | 21 |
| 入選 | 22 |
| 無鑑査 | 27 |
| 委嘱 | 29 |
| 審査会員 | 30 |

| | |
|------|----|
| 審査講評 | 31 |
|------|----|

| | |
|-------------|----|
| 応募点数・審査結果内訳 | 34 |
|-------------|----|

市長賞



◀ 日本画
「百花の舞」
瀧日勝子



洋画 ▶
「百合とストライプ」
大橋豊



▲ 書
「壺」
鈴木凍山



彫塑工芸 ▶
「彼方の柘榴」
塚本将慈



▲ 写真
「流鏝馬」
大 島 雅 子

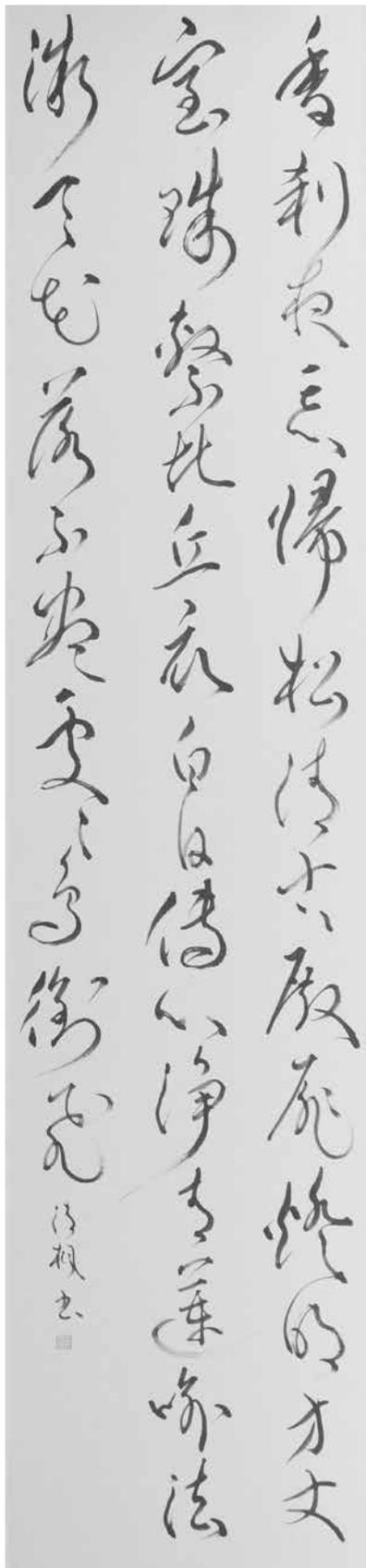
財団理事長賞



▶ 日本画
「黄河石林」
田中朝江



◀ 洋画
「出会い」
朝妻由香里



▲ 書
「宿龍興寺」
上田清楓



▲ 彫塑工芸
「××I」
示崎麻紀

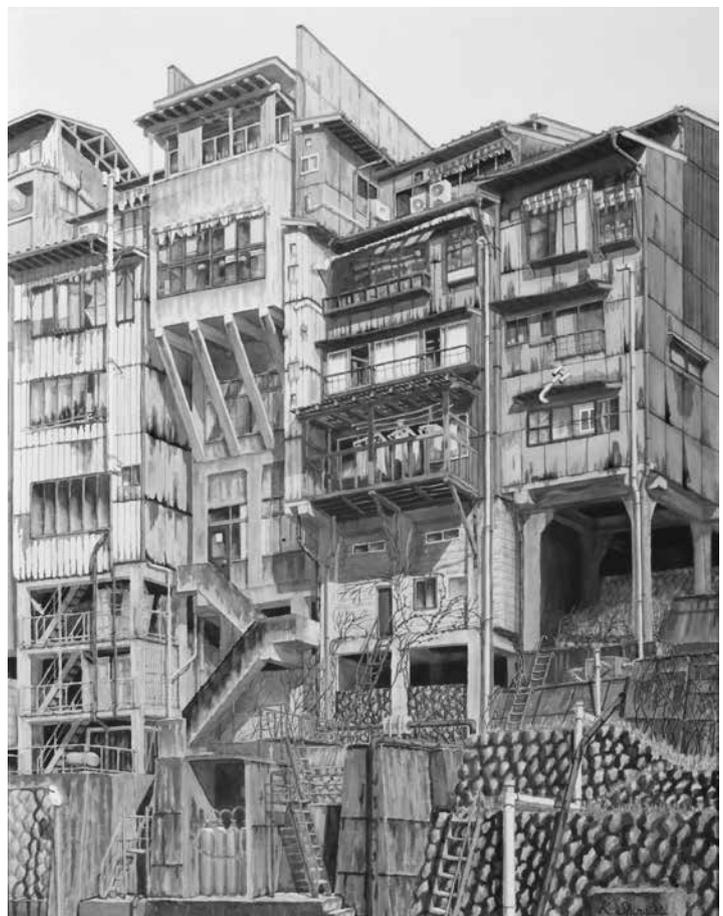


▲ 写真
「朝霧燃ゆ」
久野泰宏

教育委員会賞



◀ 日本画
「春の日の公園にて」
佐伯茂明



洋画 ▶
「崖屋造り2020」
白鳥喜代司



▲ 書
「落葉飄飄 福緣善慶」
伊藤 一典



▶ 彫塑工芸
「陽春」
館内 圭子



▲ 写真
「夢列車」
山 田 徹

市議会議長賞



▲ 日本画
「猿尾滝」
山田 憲子



▲ 洋画
「ゆらぎ」
大泉 雄一



▲ 書
「新柳」
梶田 夕貴



▲書
「冬」
下山圭子



▲彫塑工芸
「真夜中の踊り子」
神田真由

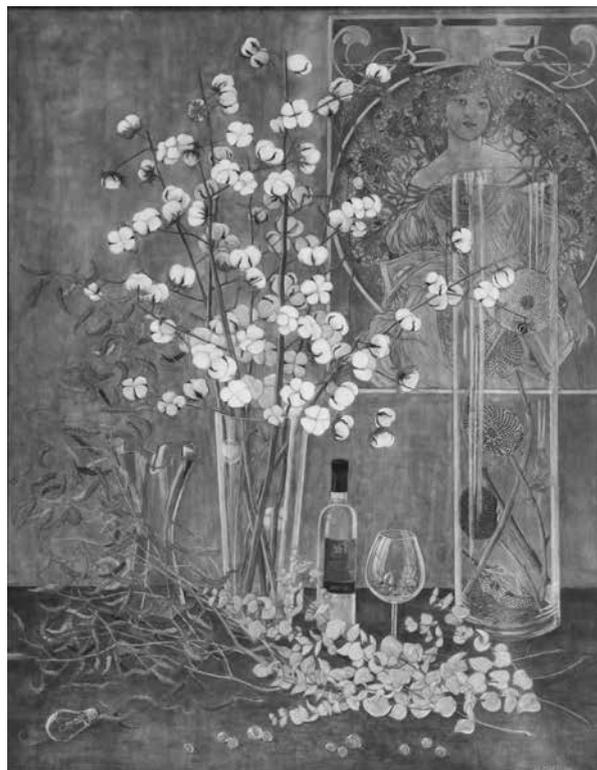


▲写真
「涼感」
安藤年孝

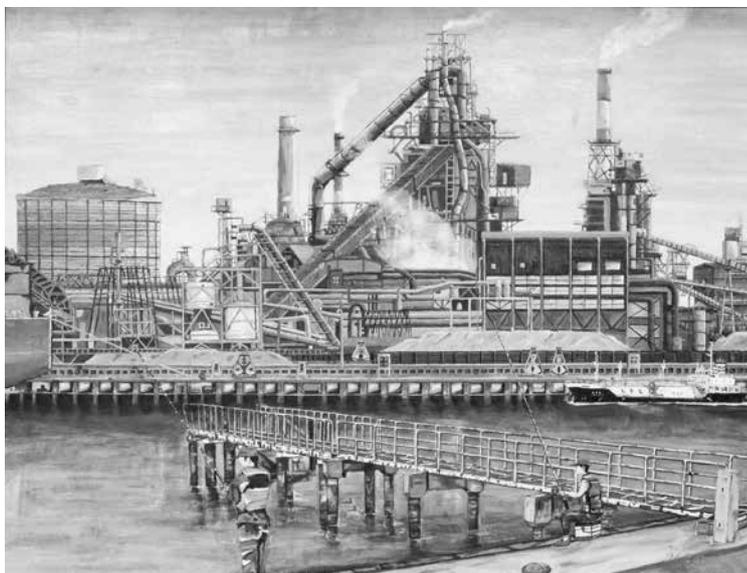
観光コンベンション協会会長賞



▲ 日本画
「神領銅鑠」
猪又良次



洋画
「WATA」
松岡弘美



◀ 洋画
「なごや港・釣りをする人」
田邊陸男



▲ 書
「廣瀬川」
九野恭菴



書
「桃花暮雨烟中閣」
工藤雅恵



書
「張說詩」
前田笙風



▲ 書
「為吾有身 聖人之道為而不爭」
永 田 正 毅



▲ 彫塑工芸
「DANCING 2020」
林 泰 子



▲ 写真
「勇壯」
神 戸 敏 文



▲ 写真
「碧き海」
坪井満子



▲ 写真
「霧水の歎び」
波多野咲枝

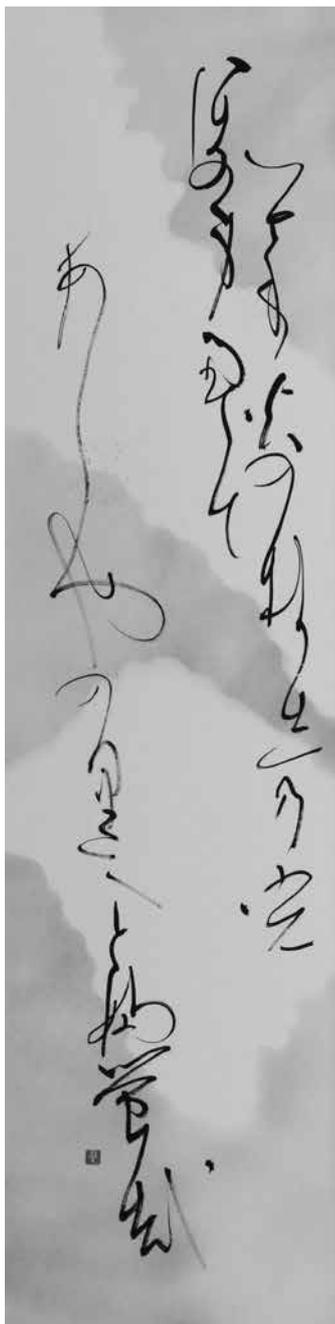
委嘱特別賞



▲ 日本画
「おでかけ はじめて」
田中 恵子

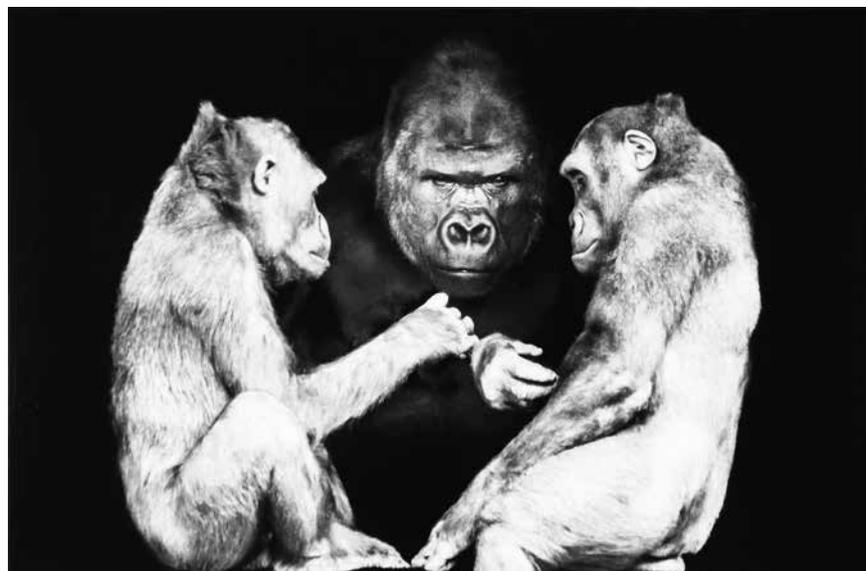


洋画 ▶
「コーヒーブレイク」
石黒 郁美



▲ 書
「いさり火」
加藤翠柳

彫塑工芸
「七宝花器」
打田世道



▲ 写真
「パパのお話」
森田和生

特 別 賞

(五十音順)

日 本 画

| | | |
|--------------------------------|-----------|---------|
| 市 長 賞 | 百花の舞 | 瀧 日 勝 子 |
| 財 団 理 事 長 賞 | 黄河石林 | 田 中 朝 江 |
| 教 育 委 員 会 賞 | 春の日の公園にて | 佐 伯 茂 明 |
| 市 議 会 議 長 賞 | 猿尾滝 | 山 田 憲 子 |
| 観 光 コ ン ベ ン シ ョ ン 協 会 会 長 賞 | 神領銅鐸 | 猪 又 良 次 |
| 委 嘱 特 別 賞 | おでかけ はじめて | 田 中 恵 子 |

洋 画

| | | |
|--------------------------------|-------------|---------|
| 市 長 賞 | 百合とストライプ | 大 橋 豊 |
| 財 団 理 事 長 賞 | 出会い | 朝 妻 由香里 |
| 教 育 委 員 会 賞 | 崖屋造り2020 | 白 鳥 喜代司 |
| 市 議 会 議 長 賞 | ゆらぎ | 大 泉 雄 一 |
| 観 光 コ ン ベ ン シ ョ ン 協 会 会 長 賞 | なごや港・釣りをする人 | 田 邊 陸 男 |
| 観 光 コ ン ベ ン シ ョ ン 協 会 会 長 賞 | W A T A | 松 岡 弘 美 |
| 委 嘱 特 別 賞 | コーヒーブレイク | 石 黒 郁 美 |

書

| | | |
|--------------------------------|-----------|---------|
| 市 長 賞 | 壺 | 鈴 木 凍 山 |
| 財 団 理 事 長 賞 | 宿龍興寺 | 上 田 清 楓 |
| 教 育 委 員 会 賞 | 落葉飄飜 福縁善慶 | 伊 藤 一 典 |
| 市 議 会 議 長 賞 | 新柳 | 梶 田 夕 貴 |
| 市 議 会 議 長 賞 | 冬 | 下 山 圭 子 |
| 観 光 コ ン ベ ン シ ョ ン 協 会 会 長 賞 | 桃花暮雨烟中閣 | 工 藤 雅 恵 |
| 観 光 コ ン ベ ン シ ョ ン 協 会 会 長 賞 | 廣瀬川 | 九 野 恭 葩 |

書

| | | |
|--------------------|---------------|---------|
| 観光コンベンション 協会会長賞 | 為吾有身 聖人之道為而不争 | 永 田 正 毅 |
| 観光コンベンション 協会会長賞 | 張説詩 | 前 田 笙 風 |
| 委 嘱 特 別 賞 | いさり火 | 加 藤 翠 柳 |

彫 塑 工 芸

| | | |
|--------------------|--------------|---------|
| 市 長 賞 | 彼方の柘榴 | 塚 本 将 慈 |
| 財 団 理 事 長 賞 | × × I | 示 崎 麻 紀 |
| 教 育 委 員 会 賞 | 陽春 | 館 内 圭 子 |
| 市 議 会 議 長 賞 | 真夜中の踊り子 | 神 田 真 由 |
| 観光コンベンション 協会会長賞 | DANCING 2020 | 林 泰 子 |
| 委 嘱 特 別 賞 | 七宝花器 | 打 田 世 道 |

写 真

| | | |
|--------------------|-------|---------|
| 市 長 賞 | 流 鎚 馬 | 大 島 雅 子 |
| 財 団 理 事 長 賞 | 朝霧燃ゆ | 久 野 泰 宏 |
| 教 育 委 員 会 賞 | 夢列車 | 山 田 徹 |
| 市 議 会 議 長 賞 | 涼感 | 安 藤 年 孝 |
| 観光コンベンション 協会会長賞 | 勇 壯 | 神 戸 敏 文 |
| 観光コンベンション 協会会長賞 | 碧き海 | 坪 井 満 子 |
| 観光コンベンション 協会会長賞 | 霧氷の歎び | 波多野 咲 枝 |
| 委 嘱 特 別 賞 | パパのお話 | 森 田 和 生 |

奨 励 賞

(五十音順)

日 本 画

梶 田 俊 計 静寂
杉 本 ひなた ふかくきらめく
高 嶋 康 子 春日遅遅
山 田 都 道場百景

洋 画

秋 本 慎ノ介 森の陽気者・オランウータン
伊 藤 博 之 始発駅
大 島 敬 助 納屋
大 橋 克 宏 漁港
小笠原 広 行 瑠璃光寺五重塔
杉 本 ひなた 昏昏
高 橋 俊 二 雨のKasugai Station
竹 村 みち子 初夏を待つ
中 條 巖 聖地ベナレスの川辺に住む。
日 置 貴 子 挑戦

書

足 立 恵 川 真草千字文
井 藤 雅 香 書譜
伊 藤 雛 子 山國初夏
神 田 俊 爽 真草千字文
櫛 田 游 月 智永真草千字文
酒 井 耕 雲 尋胡隱君
高 山 紅 雪 萬物作焉而不辞

塚 本 清 翠 茅棟
長 尾 祥 雲 天地無窮
長谷川 育 子 金槐和歌集
広 瀬 由希菜 風信帖
山 本 みさき 蘭亭序
吉 川 春 泉 出門
吉 田 翠 香 高村光太郎の詩

彫 塑 工 芸

長 尾 哲 男 Oribe Flower Pot
長 瀬 徹 十一面観音菩薩立像

写 真

木 村 弘 之 晴れやか
酒 井 香江子 闇夜の噴火
澤 田 昌 俊 スノーモンキー
信 濃 喜 六 春爛漫
杉 村 靖 之 私も撮ります
永 田 昭 夫 クライマックス
野 村 政 明 団欒
橋 本 章 夜明けの上高地
前 川 敦 哉 湖上の男
雪 嶋 大 見守もる

入

選

(五十音順)

日 本 画

相内 恵一 在りし日の海上の森
 五十嵐 美絵 春の郷
 泉 三夫 霧氷
 伊藤 稲子 麒麟ときりん
 伊藤 千浪 いつかの冬の日
 岩佐 秀樹 水のある庭園
 上村 修 静謐
 袁 宏超 在水一方
 塩谷 弘文 清々しい朝
 奥村 往躬 鍾馗・達磨大師
 梶田 純作 虎
 坂田 篤司 むか〜し、昔、、、
 杉山 美千代 山水
 鈴木 緑香 静寂の地
 高木 哲男 清廉
 千々岩 清心 瀑布
 富山 暘子 溪流と岩
 波多野 立子 カタクリ群生
 繁昌 正宏 上高地・梓川の霧氷
 福田 俊博 れんがのトンネル
 堀 久美子 祈り
 松井 美和子 養老の滝
 松本 道子 静かな秋の日

森田 玲子 黄金色そして豊作

洋 画

赤池 成子 ケローナ通り
 浅野 勝一 収穫
 安藤 恵一 経年劣化
 石井 伸子 意味ある時間
 石川 公子 牧人
 石原 年男 静物 作品-6
 伊藤 明子 月夜鳥の鳴く夜は
 伊藤 左余子 近い日
 伊藤 秀和 焼物の町
 稲葉 時雄 グリーンピア春日井大久手池散策路
 居波 律子 ワインの香り
 浦 恵子 お母さんと一緒
 大澤 正義 高原
 大島 巖 十二神将立像(亥戌酉申未午神像)
 大脇 宣夫 道のある風景
 岡屋 勘 廃屋
 小川 和子 永平寺
 萩巢 義夫 緑に包まれた奏楽堂(鶴舞公園)
 尾澤 芳子 人形と花瓶
 加藤 麻穂 happiness
 金子 哲 霧纏う秋溪

加納 裕美 なごむ

亀井 三砂子 希望

北島 優花 沖縄の海

木全文 男 オンネトー湖

小林 和美 森閑

小林 千恵子 崩れゆく窯

小林 陽子 孫

齋藤 ひと美 城ヶ山の龍

佐野 瑤子 メヌエット

島貫 智子 アリアスとガラス器

杉浦 カヲル 待つ女性

杉谷 まさ子 一隅

隅田 富子 竹筒にはおずき

高澤 満千子 友からの便り

瀧川 陽子 穏やかな時

田中 弘子 トンネルの向こうへ

田屋 澄江 憩いの場所

塚原 昭和 採土場

塚本 千代子 威風堂堂

辻 一成 ゴン

辻本 教仁 古都の桜

土屋 文秀 家族のかたち

遠山 健 クズマニア(観葉植物)

富山 仁美 2020.公園

| | | | | | |
|-------|-------------------|----------|---------------|-------|---------|
| 中嶋里江 | 新緑の古民家 | mieko.H | エミちゃんのフラメンコ衣装 | 伊藤寿美乃 | 枯野の旅 |
| 中田智恵子 | 流鏑馬 | 右高伊津子 | イブヘケを敲く女性 | 伊藤清翠 | 廣瀬川 |
| 長縄紀子 | この木樹齢?年 | 水谷寿美子 | 水谷ファミリー | 井藤千鶴 | 真草千字文 |
| 長野恭治 | 望郷 | 水谷浩 | デゴイチ | 稲垣天龍 | 一声啼鳥破春山 |
| 中畑寛重 | 新鋭機新旧交替-1957年フランス | 水野幸子 | 予感 | 今田春恵 | 崔顥詩 |
| 中村みよ子 | コロナに負けないよ! | 道下忠史 | 水中の舞 | 今田拓孝 | 盧弼詩 |
| 中山恒忠 | 切れ味 | 宮崎清子 | よろこび | 今村禎邨 | 天降霖雨 |
| 野中清三 | 清津峡溪谷 | 森ひふみ | 木陰 | 岩田紅苑 | 夜雨 |
| 長谷川憲司 | 思い出のカントリー | 森島美佐子 | とある街角にて | 岩田秀華 | 哀愁 |
| 早川瑛子 | 婦人像 | 森田由美子 | 樹 | 岩畑杏実 | 大観帖 |
| 林明美 | ピエロと風船 | 安井明彦 | 丸太 | 上原美代子 | 方丈記 |
| 林茂樹 | 大きな木 | 安田百花 | 海辺に咲く藍の花 | 臼井照 | 悠悠自適 |
| 原口かち子 | 夕映え街 | 山本ふき子 | 石柱のある街 | 梅田栄香 | 後庭のロダン |
| 原田進 | 哀愁の旅路 | 和久亨 | ファド奏者 | 大井竹香 | 臨木簡 |
| 坂野うた子 | 花いっぱい | 渡辺朋子 | 木漏れ日 | 大内久子 | 逍遙游 |
| 平岡容 | 薔薇盛衰 | | | 大島宏恵 | 平爲福 |
| 平野雅子 | 秋風雅 | <u>書</u> | | 大谷和子 | 五月のアトリエ |
| 深谷久美子 | 月下美人と妖精 | 青木笙月 | 轉佳帖 | 大野敦子 | みどり葉ひと葉 |
| 福岡博志 | 北京天壇公園で太極拳をする人達 | 朝日さくら | 蘭亭序 | 大橋萌桃 | 涼州詞 |
| 福田瑞江 | 風樹 | 安藤紫水 | 冰簾風簾 | 大畑華雪 | 飛雲閣上 |
| 藤井凡雅 | 春日井三山を望む | 井口侑子 | 大木實の詩 | 奥田霞峰 | 金菊凌霜 |
| 堀敦子 | 陽のあたる池 | 石川真曄 | 石鼎の四句 | 小熊花峰 | 豎琴を奏で |
| 松田美智子 | こっそりダンスの練習をする熊さん | 伊藤歌秀 | 太陽と春(抄) | 落合博歩 | 真草千字文 |
| 馬淵眞一 | 桂林西山落日 | 伊藤恵光 | 関戸本古今集 | 鹿倉清葉 | 山水 |

| | | | | | |
|-------|----------|-------|--------------|-------|---------|
| 梶田汀雨 | すずしき甕 | 杉野愛佳 | 盧弼詩 | 花村美咲 | 蘭亭序 |
| 加藤敦美 | 十月の詩 | 鈴木優子 | 雁塔聖教序 | 林青鶴 | 尾崎喜八詩 |
| 加藤貴咲 | 雨ニモマケズ | 染野巖峯 | 登鶴雀楼 | 林成清 | 秋日 |
| 加藤佳茜 | 自叙帖 | 高倉佳風 | 松林 | 林律子 | 杜審言詩 |
| 加藤志翠 | 祭姪文稿 | 田代美月 | 蘭亭序 | 久恒明美 | 島木赤彦歌 |
| 加藤文夫 | 頼山陽詩 | 楯勝苑 | 小祥帖 | 菱川武 | 鳥歌花舞 |
| 蟹江和江 | 溪谷 | 田中薫園 | 春城柳暗 | 日比野碧山 | 真草千字文 |
| 神山昌子 | 蘭亭序 | 田中滉樹 | 斎藤茂吉詩 | 平井苔泉 | 冬二の詩 |
| 川口莉愛 | 篆書崔子玉座右銘 | 千々岩清心 | 真草千字文 | 広井雅風 | 王昌齡詩 |
| 川島青波 | 龍門二十品 | 津田奏遥 | 臨江を過ぎて彭声之を訪う | 藤井淳翠 | 高田敏子語 |
| 神戸千春 | 水巴の句 | 坪井重夫 | 村静蛙聲幽 | 藤田竹葉 | 十七帖 |
| 木野瀬陽光 | 岡麓歌 | 富田鶴美 | 中江藤樹の詩 | 藤縄昌江 | 魂 |
| 久保田俊子 | 専氣致柔 | 富永晴美 | 道 | 古田輝美 | 仙境 |
| 熊谷涉 | 琴 | 豊田玉葉 | 怨情 | 細川厚子 | 冬二の詩 |
| 古井戸実侑 | 洛橋晚望 | 永草紅風 | 只道梅花 | 堀清琴 | 小窓半夜 |
| 小坂怜 | 三省吾身 | 中敷領立庭 | 真草千字文 | 本多しまゑ | 王維の詩 |
| 小瀬由佳 | 木簡 | 中谷翠月 | 豊楽亭遊春其三 | 前川瑞峻 | 島崎藤村詩 |
| 後藤芳子 | 陸游詩 | 萩原清澄 | 清風 万古より伝う | 牧野悠香 | 花散餘香 |
| 小藤芳園 | 山の湯 | 萩原由希子 | 悠然院様御詠草 | 間瀬慶風 | 真草千字文 |
| 古家野弥生 | 時雨 | 橋倉詠雪 | 将 | 松村健太 | 賈島詩 |
| 近藤春径 | 鳴秋の詩 | 橋傍草堂 | 雪晴晚望 | 松元涼風 | 王羲之遊目帖 |
| 堺千重美 | 七言二句 | 波多野礼香 | 石を拾ふ | 水野洋子 | 五月十九日大雨 |
| 酒井鳴石 | 西嶽華山廟碑 | 服部敦子 | なつ山 | 宮田基次 | 釜中之魚 |
| 酒井結衣 | 臨褚遂良 | 服部早紀 | 梅 | 宮武若菜 | 蘭亭序 |

| | | | | | |
|-------------|-------------------|-------------|---------------|-------|-----------------|
| 三輪桂女 | 司空曙「江村即事」 | 大柳庸子 | 名古屋城 | 市原淳宏 | 煌めく大橋 |
| 三輪セーザル光 | 塞翁失馬 | 片田芳朗 | 醍醐桜 | 伊藤智広 | 萤火 |
| 村田麗水 | 兵者詭道 | 加藤雅巳 | 備前練彩茶盃 | 伊藤廣治 | 鉄道フェスティバル全景2/1回 |
| 森恒山 | 後如脱兔 | K a m u | Pray 祈る | 稲垣一弘 | 火渡り神事 |
| 安永優 | 蘭亭序 | 慧 | 修作 | 井上利宏 | 未来 |
| 柳瀬柳香 | 集字聖教序 | 難波沙帆 | 宿す | 今泉信一 | 飛沫をあげて |
| 藪下泰山 | 感謝 | 服部光男 | 光魚 | 井村敬次 | 刻の軌跡 |
| 山内すみれ | 一騎当千 | 菱田久仁雄 | 老女 | 伊里孝彦 | 野平の一本桜 |
| 山岡幸子 | 韋応物詩 | ひょうたん すみじろう | 狐の嫁入り | 江崎光男 | 里山は桃源郷 |
| 山口麗泉 | 即席送王廷朱士 | 平井輝彦 | 悠然 | 大熊俊雄 | ランチタイム |
| 山路白燿 | 響りんりん音りんりん | 藤澤康子 | 花魁と禿 | 小笠原貞二 | 勇姿 |
| 山田素花 | 道因法師碑 | 前畑充穂 | 薬師如来像 | 岡島敬司 | 極致の芸 |
| 山中峰代 | 熊野の磨崖佛 | 松本廣行 | 環 | 荻野弘 | 棚田の日ノ出 |
| 余郷快晟 | 立原道造詩 | | | 小椋英雄 | 朝日に輝く棚田 |
| 吉田芳水 | 書譜 | 写 真 | | 小原壮一 | 春が来た |
| 吉本有里 | 蘭亭序 | 安達章三 | デュエット | 折戸秀明 | 傘のアート |
| 和佐田祐翠 | 秋の朝 | 荒川一正 | 紅葉の絨毯 | 垣内正博 | 秋深し |
| 渡邊錦泉 | 韋應物詩 | 家田大輔 | 光とともに | 籠橋定省 | 求愛給餌 |
| 渡邊翠流 | 素堂の句 | 石井和廣 | カンチェンジュンガの夜明け | 笠原照雄 | 名古屋の夕暮れは |
| | | 石川宜明 | D51動輪 | 加島治夫 | 神道 |
| 彫塑工芸 | | 石黒清孝 | デッドヒート | 片田芳朗 | くすぐったあーい |
| 青木一江 | つた | 石黒みさ子 | 無音の夕刻 | 加藤宏 | スリル満点 |
| 池井頼雄 | 面舵新道/ハート/父母なる大地の胸 | 石黒良夫 | 虹 | 加藤学 | 涼を求めて |
| 岩田洋 | 釉裏紅おだまき文皿 | 磯村弘 | ジャンプ | 加藤道子 | 静寂 |

| | | | | | |
|-------|-----------------|-------|--------------|-------|-----------------|
| 金澤正浩 | 強風吹き抜ける。 | 中村和夫 | 宵桜 | 三尾康之 | 瞬光 |
| 木全眞里子 | 火炎みこし | 中村春喜 | 高い高い？ 飛んだ飛んだ | 水谷琴美 | 霧静の朝 |
| 久野榮次 | 息を合わせてハイジャンプ | 名倉進 | 秋の彩り | 南典男 | 斜陽 |
| 熊澤晴夫 | 花の香りに誘われて | 西村隆二郎 | あかね空 | 村田正美 | ダイヤモンドダスト・霧ヶ峰にて |
| 熊野義樹 | 待ちきれず犬山城 | 丹羽正彦 | あの夏のひまわり畑 | 森幹雄 | 花に魅せられて |
| 桑原良憲 | きれいだね！ | 丹羽守男 | すいれんの花 | 森美智子 | 南国への旅立ち |
| 小島明男 | ビル街のオアシス | 長谷川忠志 | 次は私が 満開です | 森嶋廣 | 首長族の親子 |
| 小島俊子 | 毛刈り | 長谷川能文 | 初夏の彩 | 山岸武久 | 屹立する大岩 |
| 後藤和雄 | 春よこい | 波多野豊子 | 躍動 | 山田公治 | 早春の池畔 |
| 斉藤光代 | one day | 平川朋実 | 笑顔 | 渡邊信二郎 | 牧場の夜明け |
| 酒井親 | 大空の花 -ブルーインパルス- | 平澤孝允 | 五彩色の紅葉 | 渡邊勉 | 着水 |
| 坂田百栄 | 君を感じて、、、 | 藤井孝顕 | 多宝塔に秋来ぬ | 渡辺久尚 | 赤い橋 |
| 坂本秀明 | 収穫 | 藤田文夫 | 雨上がりの朝 | | |
| 重田かつ子 | ラブラブ | 藤田守男 | 勝泉寺のしだれ桜 | | |
| 下平邦弘 | 朝日射す鹿島槍ヶ岳 | 古田恵美子 | 燃える秋 | | |
| 下村立上 | 女神輿 | 古田修 | 谷川岳に彩り | | |
| 杉本ひなた | 彼女の遊歩道 | 堀尾澄男 | 朝日 | | |
| 杉山道生 | 春の訪れ | 本郷智之 | ほんやりした紅葉 | | |
| 鈴木哲夫 | 春の煌めき | 前田昌弘 | 威嚇 | | |
| 鈴木宏昭 | 感謝(医療従事者に) | 前村嘉治 | 光降る滝 | | |
| 田村元雄 | にらみあい | 益江健一郎 | カラフル | | |
| 豊田實 | 荒野の夏雲 | 松下進 | 残照 | | |
| 仲井由美子 | 春光 | 松田健 | 艶 | | |
| 中條巖 | ガンガーに、ひたすら祈る。 | 松永昭弘 | 光のアート | | |

無 鑑 査

(出品者のみ、五十音順)

日 本 画

飯 尾 博 明 夕映え
 瀧 日 勝 子 百花の舞
 武 内 喜代子 石仏(白杵)
 田 中 朝 江 黄河石林
 山 下 勝 一 夜明け

洋 画

会 津 清 子 動物園の山羊さん
 朝 妻 由香里 出会い
 老 本 貴美枝 宇宙エレベーター
 大 泉 雄 一 ゆらぎ
 大 塚 早 苗 時の経過の中で
 奥 村 進 旅の途中 南仏
 加 藤 美代子 溪流 奥入瀬
 神 戸 健 志 幻想美人之湯
 佐 藤 早和子 ふれあい緑道
 佐 藤 百合子 林檎に麦わら
 白 鳥 喜代司 崖屋造り2020
 橋 本 進 安曇野紅葉を訪ねて
 浜 谷 真知子 野菜に囲まれて
 深 山 百合子 秋近し
 増 田 美和子 春の庭
 松 岡 弘 美 WATA
 山 田 貞 子 道
 山 田 美枝子 風景画

書

浅 野 春 翠 送友之京
 井 戸 茂 造 起
 伊 藤 翠 月 草書千字文

大 橋 幽 徑 月光菩薩
 岡 田 雪 魚 争坐位文稿
 小 川 華 舟 星河不動天如水
 笠 木 柏 舟 武内幽華の句
 加 藤 紅 曄 石川啄木の詩
 亀 田 橋 河 書 譜
 川 合 碩 山 陳師道詩
 河 原 綵 子 なみの音の
 北 谷 香 紗 月斜人影忽在水
 櫛 田 瑤 月 礼器碑
 國 定 景 風 芳春山影
 小 島 徹 光と影
 小 林 溪 翠 隷書張衡靈憲四屏(部分)
 小 林 恵 風 コ ト リ
 小 林 進 獻壽酒
 柴 田 美 保 島崎藤村詩
 清 水 竹 水 獨坐敬亭山(李白)
 代 田 美 泉 翻
 鈴 木 春 葉 ポール・フォールの詩
 鈴 木 凍 山 壺
 砂 原 篁 舟 作冊旅觥
 竜 田 春 蘭 橋南納涼
 谷 利 紫 鳳 木陰
 鳥 居 彩 雨 春夜洛城聞笛
 中 澤 抱 翠 竹外風烟開秀色
 永 見 沙 香 涼声度竹風如雨
 西 山 美 翔 春望
 仁 部 巒 瑋 室生犀星の詩
 野 中 游 園 集靈台
 野々川 翠 扇 深渡驛
 羽 柴 苔 谷 熱風

原 田 美 紀 雁塔聖教序
 平 野 智 山 摩周湖
 福 田 大 海 皎然
 藤 田 香 志 花影忽生知月到
 古 川 直 美 三体白氏詩卷
 古 莊 翠 雨 伊都内親王願文
 古 橋 篤 和 曹全碑
 堀 和 水 林外雪消山色静
 堀 尾 美代子 大空
 増 田 紅 葩 長谷川權の句
 松 田 玲 花 真草千字文
 松 原 楽 朋 秋風の歌
 右 高 香 山 曇さくら忍冬の花
 宮 田 澄 希 石鼓文
 山 田 翠 苑 鷺
 山 本 康 二 壽山萬歳青松秀
 山 本 鈴 珠 尉遲為牛楸造像記
 横 井 吟 虹 空觀
 横 井 光 城 楊柳枝
 吉 岡 翠 谷 蓮

彫 塑 工 芸

大 竹 恵 子 ペンションの朝
 奥 村 日出夫 小野道風公
 加 藤 知 子 Art Aquarium
 川 口 瓊 子 猫が居る風景
 林 泰 子 DANCING 2020
 日 高 玲 子 ローズガーデン
 平 野 鎮 雄 晩秋の熊野路
 村 田 紀 子 清華

写 真

浅 井 馨 ひょっこり笑顔
 安 達 和 子 干潟の光彩
 安 藤 年 孝 涼感
 石 井 啓 喬 春つげる炎火
 磯 部 正 夫 朝霧に映える
 上 原 一 郎 獲物
 牛 場 建 一 捕獲
 大 島 雅 子 流鎗馬
 大 島 守 姉妹
 大 西 寛 玉鏡
 奥 村 起巳生 デッドヒート
 川 合 秀 志 明日の輝き
 久 野 泰 宏 朝霧燃ゆ
 鴻 江 司 郎 人道ヶ丘の夕日
 榊 原 司 クライマックス
 鈴 木 建 彦 鷺舞
 竹 島 光 治 段流
 竹 島 洋 子 笑顔
 坪 井 満 子 碧き海
 外 勢 肇 夏休み
 永 宮 正 義 サーファー
 早 川 幸 夫 炎の競演
 林 柁 樹 朝霧のバガン仏塔遺跡(ミャンマー)
 凡 三 山峡
 松 本 唯 明 “STAY HOME”
 吉 野 徹 桜吹雪
 吉 村 清 子 風紋

委

嘱

(出品者のみ、五十音順)

日 本 画

大 島 雅 子 ピエロ
 奥 村 日出夫 牡丹
 小 澤 寛 フクロウ
 鈴 木 潤 子 とうもろこし
 田 中 惠 子 おでかけ はじめて
 田 中 よしこ アイリス
 富 永 美千代 蘆薈
 長 崎 知 子 カラー
 平 松 節 子 シンビジウム

洋 画

石 黒 郁 美 コーヒーブレイク
 稲 葉 幸 夫 サンゴの海
 小 原 芳 子 木漏れ日の杜
 嘉 瀬 忠 男 団欒の音が聞こえる
 鈴 木 英 機 有松の町並み風景
 西 島 正 人 窯場
 山 本 英 之 温室

書

今 井 芝 香 光史の句
 岩 田 守 文 臨書
 鵜 飼 冠 山 山静松声遠
 宇 野 光 峰 砂漠
 大 嶋 雲 亭 蘇軾詩
 岡 本 桃 香 沙弥満誓詩
 小 川 岳 南 澤木欣一句
 小 幡 豊 園 風信帖
 加 藤 城 涯 竹
 加 藤 翠 柳 いさり火

神 戸 春 谷 土井晩翠の詩
 小 坂 克 子 初春令月・気淑風和
 小 嶋 惠 泉 秋もや、
 小 林 京 苑 深窓秘抄
 鈴 木 美 月 俊太郎の詩
 高 橋 小 蘭 密林
 服 部 光 峰 早發白帝城
 桃 井 祥 谷 紅葉(抄)
 山 川 桂 花 清涙数聲

彫 塑 工 芸

伊 藤 時 子 花菖蒲園
 打 田 世 道 七宝花器
 柴 田 文 夫 開幕祈願
 丹 羽 武 久 カラフルタウン
 松 本 芙 三 子 羽衣
 八 木 宏 美 流鏝馬
 矢 崎 朱 実 King protea
 安 江 勝 夫 十一面観音

写 真

伊 藤 とよ子 古墳
 大 嶋 和 美 幸福への願い
 坂 本 進 暮色
 中 西 眞 二 風よ来い
 西 井 忠 義 厳寒
 村 里 茂 延 彩雲の朝
 森 田 和 生 パパのお話
 安 場 佳 展 安全放流

市民美術展覧会審査会員

(順不同)

日本画

安達 英志郎 マスカレード
 森脇 正人 遙か
 浅野 忠 清爽
 鈴木 淳子 うつくしき
 瀧下 尚久 流転
 加藤 洋一朗 街
 芝 康弘 絆

洋画

奥村 浩康 アーティチョーク
 後藤 勉 アトリエの床
 三宅 純三 焼岳
 中西 齋之助 一
 小林 笑子 植物譜
 小林 俊明 壁の風景
 塚田 譲 春・千曲川
 岡部 寛治 旅の思い出(ドイツにて)
 木村 順一 顔のある聖堂
 新井 直子 水を求めてのびていく木の根
 兼 忠志 氷柱・STOP温暖化
 水谷 武 予感2020

書

中村 立強 奏
 藤田 金治 破竹
 長谷川 秀谷 願い
 石黒 柏葉 増子としの詩より
 後藤 幽泉 山寺
 河野 春園 五言詩句
 木全 春葉 頼山陽詩
 安達 柏亭 難有仕合
 橋詰 桃邨 無山不帯雲
 小林 静葩 一
 日比野 桃花 真露發荷香
 武内 峰敏 武内幽華の句

小川 大樸 鑑別魚龍
 川本 赫汀 夕の海
 原田 凍谷 武藤あい子の句
 長谷川 清城 春雷
 山川 昌泉 乗風破浪
 梶田 文宗 春秋時代金文
 後藤 抱琴 ランドセル俳人からの「卒業」
 本多 順香 秋生黄葉聲中雨人
 津田 松鶴 史的幻想
 鈴木 香萩 高嶺の花
 三島 濟美 教
 伊藤 井翠 野寺分晴樹
 川本 大幽 良寛の句
 落合 棲谷 七凹八凸
 河地 栖雲 楊淮表紀
 小山 峯雲 袁枚詩
 永瀬 紅蘭 芭蕉の句
 松本 盈真 一声老鶴月中聴

彫塑工芸

高橋 佐門 粉吹窯変 扁壺
 吉村 政美 追憶
 柴田 明 有線七宝抽象文花器
 河村 佳則 やすらぎ
 伊藤 典子 SO宙RA-奏
 丹羽 萌 抽象の街

写真

伊藤 滋 祈り
 安藤 宏幸 パフォーマンス
 奥村 克己 回向の灯
 丹羽 省吾 ジャンプ

審 査 講 評

日 本 画

今回の日本画部門は一般31名、無鑑査5名、委嘱9名の合計45名の応募と、審査会員7名を加えた出品がありました。コロナ禍で出品数が減るかもしれない、という思いがあった中、委嘱の出品は減ったものの、実際は一般の出品も昨年より増えており、芸術の力、作品を作り上げる方々の想いを再確認しました。今回はコロナウイルス感染拡大状況を考慮し、公開審査が中止となりましたが、例年同様に公平な審査を行い各賞を決定致しました。

市長賞：瀧日勝子「百花の舞」……堂々と牡丹を正面から捉え、美しく咲きほころぶ瞬間を逃すまいと作品にした、表現、色彩ともに豊かな作品です。赤い蕾はこれから、を感じる生命に満ち溢れた力強さを感じます。

財団理事長賞：田中朝江「黄河石林」……自然が作り出す壮大な風景に圧倒されながら表現として残したい、を感じた作品です。絵具の塗り重ねも美しく、迫力のある構図と表現が評価されました。

教育委員会賞：佐伯茂明「春の日の公園にて」……幼児とそれを見守るかのような表情の猫。構図や塗り方、光の粒子のような表現がとても独創的で春の木漏れ日を感じさせ、温かい気持ちになります。

市議会議長賞：山田憲子「猿尾滝」……縛られない思い切りのある筆さばきと墨と白のコントラストのバランスがとても良く、水流の勢いを感じます。モチーフと表現の方法が合致した作品ではないでしょうか。

観光コンベンション協会会長賞：猪又良次「神領銅鐸」……銅鐸の重々しい風格のようなものの表現が緻密な描写で表現されており、また露草などと共に描く事により画面に命が吹き込まれてる様な感じを受けます。

委嘱特別賞：田中恵子「おでかけ はじめて」……おかあさんとあかちゃんの沢山ある、はじめて、のひとつ。隅々まで描き込まれた表現も好感が持て、とても微笑ましく愛おしく、観ている我々を笑顔にさせます。

奨励賞：梶田俊計「静寂」……抑えた色調の中、幹の配置のリズムが美しく、その森に漂う空気の中に入り込んだような気持ち良さを感じます。

奨励賞：杉本ひなた「ふかくきらめく」……本当の美しさとは、と考えさせられる表現でした。深みのある色彩の中に限られた分量で見せる鮮やかな色にハッとさせられました。

奨励賞：高嶋康子「春日遅遅」……亀の歩みのように、春の日がうららかでのどかに過ぎて行く様を伸びやかな構図で、亀の表情も豊かに表現されていて楽しい画面です。

奨励賞：山田都「道場百景」……連作作品の一枚一枚がとても緻密に、見落とししてしまいそうな風景すら想いがあるからこそ作品となり、そして表情豊かに描かれているところに好感が持てます。

モチーフに出会った時、どれだけ自分の心を動かしたかは制作していく中でとても重要だと思います。その感動や想いがあるからこそ、長い時間をかけて作品に向き合う事が出来、観るものを感動させるのではないかと考えています。次回も楽しみにしています。

＜日本画部門審査会員 鈴木 淳子＞

洋 画

今回の出品点数は審査会員を含めて132点で昨年より22点の減少となりました。昨今のコロナ感染の状況を考えると、思ったより多くの出品者数であったと考えています。全体の傾向としては、水彩画作品が多くなり、油彩画よりかなり増加しました。版画作品が1点のみとなった点は少し寂しい気がします。来年は色々な分野の作品が1点でも増加する事を期待しています。奨励賞候補の作品も多くなり、絵を楽しむ人が多くなったと感じました。委嘱特別賞が久しぶりに選ばれた事も嬉しく思います。

市長賞：大橋豊「百合とストライプ」……構図がまとまっており、布や花瓶等、質感の表現が良く、画面全体から明暗を感じさせる充実感のある作品でした。

財団理事長賞：朝妻由香里「出会い」……若い女性の立像というシンプルな画面を少ない色数でまとめ、デザイン的なバックと合致させ、強さを感じさせる秀作となりました。

教育委員会賞：白鳥喜代司「崖屋造り2020」……この水彩作品は、建物の重厚さが上手に表現されており、どっしりとした安定感のある作品です。木曾福島の風景を暖色系の色でまとめており、細部まで丁寧に描き込んである労作と思いました。

市議会議長賞：大泉雄一「ゆらぎ」……工業地帯を描いたこの作品は、水面に映っている建物がしっかりと描かれており、視点が面白いと感じました。

観光コンベンション協会会長賞：松岡弘美「WATA」……毎年綿をモチーフに追及されており、落ち着いた雰囲気

気がよく出ています。最近では水彩画の出品者も多くなってきており、水彩画の大作に挑戦したいと思っている人達の模範になる作品だと思えます。

観光コンベンション協会会長賞：田邊陸男「なごや港・釣りをする人」……港の工場風景を真正面から描いており、煙が出ている場面や、船の様子等、臨場感のある画面となっています。手前に釣り人を入れることによって、生活感のある温かい絵になったと思えます。

委嘱特別賞：石黒郁美「コーヒープレイク」……床に横たわった人形という奇抜な構図で新鮮な感じがしました。コーヒークップ、絨毯等もしっかりと描かれていて質感が良く出ています。

奨励賞候補の作品は、予定人数の9名よりかなり多くの作品が候補に挙りました。今回は三密を防ぐため、公開審査はできませんでしたが、全体的にレベルは向上していると感じました。

＜洋画部門審査会員 岡部 寛治＞

書

書のまち春日井には他市に比べ、様々な書風の指導者が多く、出品者にもそれが反映し、見応えがある。書には伝統的な漢字・かなといった日本では奈良・平安からの文字や、更に古く中国の文字を直接見て学び生かす臨書というものや、展覧会場で芸術的に書を見せていこうとする現代書と呼ぶものもある。現代書では筆についてもより芸術性を出す為に毛の長いものや毛質の柔らかいものを使い、線の美を求めるものも多く、一般の美文字と言われるものとは全く異なる文字芸術を創り出そうとしている。

今回の出品は246点。(一般144、無鑑査54、委嘱19、審査29)。コロナ影響下での出品を考えると日頃より書に勤しむ文化的生活がゆるぎないものとなっていて頼もしい出品数である。

市長賞：鈴木凍山「壺」……「白磁の壺よ」と大書。大字の見所は線の厚み・立体感を出す筆使いだが、大変難しい。この作の線は複雑でよく鍛錬した簡単には出せないものである。

財団理事長賞：上田清楓「宿龍興寺」……流麗な線で書くこの作は、線自体の美しさが見所。墨色の清々しさ、左右に伸びる字形、そしてその揺れを全体として破綻なくまとめ上げる技術は高い。

教育委員会賞：伊藤一典「落葉飄飄 福縁善慶」……篆刻作品である。篆刻とはもっとも古い書体の篆書を石に彫って作品とする。現在のはんこの元である。小さな印の中で刀を駆使し、線の太細・疎密・構成の美を創る。これも整然とした美や古い味わいをわざと活かしたもの等、表現は深い。出品の二印は趣を異にし、調和の美と自然物の如き古色の変化を両面表出した。

市議会議長賞：下山圭子「冬」……現代文で「降りそそぐ柳の霰」と大書。自在な空間配置だ。風景を感じさせる構成で、小字も変化が著しい。大字の波立つような表現、それを支える線の強さも評価する。

市議会議長賞：梶田夕貴「新柳」……この作品も現代文を書いている。細く長い毛の筆の線であろう。行間がしっかりとあき、少量の墨で爽やかである。変化があり全体で観てしまうが、一字一字も読んで味わって欲しい。

委嘱特別賞：加藤翠柳「いさり火」……この賞は委嘱より一点、特に優秀作がある時に受賞者が出る賞、昨年は該当者なしであった。この作、平安の仮名の書を学び制作。平安の仮名は印刷のない時代に手書きで作った本の形で今日に伝わっている。読みやすさ・紙面の美しさを追求した日本語口語文の表記のはじまりである。かなのピンと張った細線が空間を見事に押さえている。散らし書きは日本独特の美であるが、線の強弱と現代的な疎密の表現を加えてよりメリハリの効いた快作となった。

例年に比べると若干サイズが小さいものが多い気もしたが、その分丁寧な古典臨書も沢山あり、ゆっくりと鑑賞していただければ書の味わいの多い展覧となると思う。

＜書部門審査会員 原田 凍谷＞

彫塑工芸

彫塑工芸部門では、若い方の初出品が増えて、会場の勢いが増して大変喜ばしいことです。

もちろん、従来からの力作も揃って、見応えのある作品ばかりで、肩を並べる各作品の審査には、審査員一同も票が分かれるなどして、かなりの時間を要しました。

彫塑作品は、長く出品がなかっただけに、甲乙つけがたい力作揃いでした。

市長賞：塚本将慈「彼方の柘榴」……技術的にも素材としても専門的な知識が必要な彫塑部門で、こつこつとした地道な積み重ねの中、その成果が垣間見られる出来で印象的

でした。

財団理事長賞：示崎麻紀「××I」……表面処理や表現として独特な個性を感じる作品となっていました。

教育委員会賞：館内圭子「陽春」……伝統技法を駆使し丁寧な作りで技術的にも完成度が高く優しく仕上げられました。

市議会議長賞：神田真由「真夜中の踊り子」……細い線や面を活用した独特の技法と構成で、新感覚の工芸的作品となっていました。

観光コンベンション協会会長賞：「DANCING 2020」……置き型立体の陶芸、カトレヤをモチーフとして存在感のある作品です。

奨励賞：長瀬徹「十一面観音菩薩立像」……細密な木彫り技術を要する大型の木彫となりました。

奨励賞：長尾哲男「Oribe Flower Pot」……技術と完成度を感じる仕上りと独特な色合いの秀作です。

委嘱特別賞：打田世道「七宝花器」……技術的にも熟練の度合いと全体的な配色の美しさに魅力を感じる作品となっています。

全体的には、様々な彫塑工芸分野の技術を見ることができて、それぞれが力作です。1点1点が時間をかけ努力された成果が見られ、どの作品もそれぞれの技術と個性が光っていました。

こんなコロナの時代ですが、作品を作ることで作品を味わうこと、それぞれに何か心が動くものです。より良い一歩を目指して未来に向けて歩みたいものです。

ひとりでも多くの方が創作の世界に参加下さることを望んでいます。

＜彫塑工芸部門審査員 丹羽 萌＞

写 真

今年は新型コロナの影響もあり、写真部門の応募点数は昨年より25点も減少してしまいました。しかし、例年以上に個性のある良い写真が目立ちました。(出品者数は、一般106名、無鑑査27名、委嘱8名の合計141名)

審査は4人の審査員で約2時間かけて慎重に行いました。一次審査(奨励賞以上の候補作品の決定)・二次審査(入賞者の決定)を経て、市長賞始め上位入賞7名と奨励賞10名が決まりました。入賞されました皆さんおめでとうございます。

市長賞：大島雅子「流鎚馬」……豊川市の砥鹿神社で行われる流鎚馬神事をタイミングよく捕えています。流し撮りした事により背景の煩雑さが消えて主役が浮き立ち、馬の足の運び・子供の衣装の流れによりスピード感が増しました。馬に乗る少年が真剣なまなざしで一点を見つめ緊張感が出ています。また、バックを暗く落とした事により、夕日を浴びた人馬がオレンジ色に引き立ちました。市長賞にふさわしい素晴らしい作品です。

財団理事長賞：久野泰宏「朝霧燃ゆ」……霧が立ち込める中、黄金色に輝くネコジャラシを画面いっぱいに入れた大胆な構図が成功しました。

教育委員会賞：山田徹「夢列車」……緑色に光るホテルが舞う中を、一台の青い電車が走っていく。題名の通りアニメの世界の夢列車です。

市議会議長賞：安藤年孝「涼感」……なんといっても少女の表情としぐさが良いです。「キヤー冷たい」と叫び声が聞こえてきそうです。手前の噴水をぼかして流したアイデアが成功しました。

観光コンベンション協会会長賞：坪井満子「碧き海」……砂辺を紺の濃淡で模様化し、碧い世界を表現しています。露出を切り詰めたことにより、光った部分と海水が、「自然が生んだ模様」となっています。いい場面を見つけ、個性ある作品にしています。

観光コンベンション協会会長賞：波多野咲枝「霧氷の歓び」……星空と、雪の積もった桜のように見える白木の組み合わせが、目を引きました。今回は風景的な作品4枚が賞に入りましたが、それぞれに狙いがあり質の高い作品だと思います。

観光コンベンション協会会長賞：神戸敏文「勇壮」……草競馬の一コマでしょうか。人馬一体となり前進してくるところを、画面いっぱいに切り取ったことで力強さと迫力が出ました。馬を操る男の真剣な表情を見逃さず捕えています。

委嘱特別賞：森田和生「パパのお話」……8名の中から、選ばれました。この作品は、東山動物園の人気者ゴリラのシャバーニが、2頭の子供に説教しているような様子をうまく表現しています。親の真剣な表情、子供が正座させられて叱られているようなところをシャッターチャンス良く撮っています。

＜写真部門審査員 安藤 宏幸＞

応募点数

| | | 日本画 | 洋画 | 書 | 彫塑工芸 | 写真 | 合計 |
|--------------------|----------------|-----------|------------|------------|-----------|------------|------------|
| 応募搬入点数 | ①一般 | 31 | 96 | 144 | 22 | 106 | 399 |
| | ②無鑑査 | 5 | 18 | 54 | 8 | 27 | 112 |
| | 小計(①+②) | 36 | 114 | 198 | 30 | 133 | 511 |
| ③委嘱 | | 9 | 7 | 19 | 8 | 8 | 51 |
| ④審査会員参考作品 | | 7 | 11 | 29 | 6 | 4 | 57 |
| 合計(①+②+③+④) | | 52 | 132 | 246 | 44 | 145 | 619 |

審査結果

| | | 日本画 | 洋画 | 書 | 彫塑工芸 | 写真 | 合計 |
|-------|----------------|----------|----------|----------|----------|----------|-----------|
| 特別賞 | 市長賞 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 5 |
| | 財団理事長賞 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 5 |
| | 教育委員会賞 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 5 |
| | 市議会議長賞 | 1 | 1 | 2 | 1 | 1 | 6 |
| | 観光コンベンション協会会長賞 | 1 | 2 | 4 | 1 | 3 | 11 |
| | 合計 | 5 | 6 | 9 | 5 | 7 | 32 |
| 奨励賞 | | 4 | 10 | 14 | 2 | 10 | 40 |
| 入選 | | 24 | 84 | 122 | 16 | 93 | 339 |
| 選外 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 委嘱特別賞 | | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 5 |

| | | 日本画 | 洋画 | 書 | 彫塑工芸 | 写真 | 合計 |
|--------------|--|-----------|------------|------------|-----------|------------|------------|
| 展示数合計 | | 52 | 132 | 246 | 44 | 145 | 619 |

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、審査員解説（ギャラリートーク）は全日程中止とさせていただきます。ご来場の皆様の安心と安全を守るため、ご理解とご協力をお願いいたします。

なお、新型コロナウイルス感染拡大状況を考慮し、展覧会の様子をインターネット上で公開いたします。

【VR市民展公開期間】

令和2年8月21日(金)～9月30日(水)

※かすがい市民文化財団ホームページ上で公開します。

インターネット環境があれば、どなたでも簡単にご覧いただけます。



春日井市民美術展覧会 資格について

「春日井市民美術展覧会規約 細則に関する事項」より

【審査会員】 次に掲げる者のうちから役員会で決め、春日井市長が委嘱する

- 1 市内在住、又は在勤の美術作家で現に活躍し、相当の地位にある者
- 2 市民展に功績のある者

【委嘱者】 1 本展覧会において市長賞を2回、若しくは市長賞を1回と財団理事長賞・教育委員会賞・市議会議長賞・観光コンベンション協会会長賞・記念賞のいずれかを2回受賞した者

- 2 市民展審査委員会推薦した者

【無鑑査者】 1 本展覧会において市長賞を1回、若しくは財団理事長賞・教育委員会賞・市議会議長賞・観光コンベンション協会会長賞・記念賞のいずれかを2回受賞した者

- 2 市民展審査委員会推薦した者

【資格喪失】 2年連続して出品のない場合、その資格を失うことがある。

※ただし、第69回は有資格者の失効年数に含まない。

第69回 春日井市民美術展覧会入賞者名簿

令和2年8月発行

編集：公益財団法人かすがい市民文化財団

発行：春日井市

〒486-0844 春日井市鳥居松町5-44

公益財団法人かすがい市民文化財団 電話(0568)85-6868